

講義名: 地域研究 I A <春> 曜日1: 火4 担当教員名: 軽部 恵子	ナンバリングコード: POLS2450 曜日2:
--	-----------------------------

研究室: 聖アンデレ館10階1022号室	オフィスアワー: 火曜日16時45分~17時30分、金曜日16時45分~17時30分	メールアドレス:
----------------------	--	----------

授業形態 『講義』 『アクティブラーニング』

講義・演習概要 「アメリカ」は、アメリカ合衆国を指すこともありますが、南北アメリカ大陸を指す時も、南北アメリカ大陸にある諸国を指す時もあります。そのほか「ラテンアメリカ」という語句があります。ラテンアメリカは北米大陸にあるメキシコ以南の国を指します。さらに、「中南米」という語句もあります。これらの語句の違いについて、あなたは由来を説明できますか。この講義は、大航海時代以降の南北アメリカ史を概観し、重要なできごとを解説していきます。国ごとの歴史だけでなく、南北アメリカの国々が互いに与えた影響、さらには大西洋を挟んで旧大陸と新大陸が与えた影響も考察していきます。この講義の第4回および第5回は国際機構論Aおよび国際法Aの一部と似ていますが、アメリカ史の視点から考えるものとなります。講義冒頭には、国内外のメディアのホームページを用いて、メディア・リテラシーも学びます。
--

学習(到達)目標 ①大航海時代以降の南北アメリカ史をグローバルヒストリーとして概観し、基礎知識を修得する。 ②アメリカ合衆国とそれ以外の地域が互いに及ぼした影響について考察する。 ③国際問題の理解に必要な一般教養、とくに歴史・地理・文化・宗教を修得する。 ④メディア・リテラシーを身につける。
--

講義・演習計画
【第1回】 「アメリカ」とは何か
【第2回】 コロンブス以前とコロンブス以後
【第3回】 植民地の建設とピルグリム・ファーザーズ
【第4回】 アメリカ独立革命とフランス革命
【第5回】 ナポレオン戦争とラテンアメリカ諸国の独立
【第6回】 南北戦争と西部開拓
【第7回】 第一次世界大戦と「アメリカ」
【第8回】 第二次世界大戦と「アメリカ」
【第9回】 冷戦の始まりとキューバミサイル危機
【第10回】 ベトナム戦争と米中国交正常化
【第11回】 ラテンアメリカ諸国の軍事政権と民主化
【第12回】 冷戦の終わりと湾岸戦争
【第13回】 アメリカ同時多発テロとイラク戦争
【第14回】 グローバリズムと「アメリカ」
【第15回】 まとめ、期末試験

成績評価の方法			
試験 100%	レポート	その他	
コメント	試験3回(25%、25%、50%)で決定します。最初の2回は抜き打ちで行います。詳細は第1回授業で発表します。		

テキスト			
著書	成美堂出版編集部編	タイトル	一冊でわかるイラストでわかる図解世界史
ISBN	978-4415103334	出版社	成美堂出版
教科書購入区分	大学オンライン販売	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	

参考文献 岡山裕『アメリカの政党政治』中央公論新社、2020年 紀平英作・亀井俊介『アメリカ合衆国の膨張』中央公論新社、2008年 五十嵐武士・福井憲彦『アメリカとフランスの革命』中央公論新社、2008年 松下冽『ラテンアメリカ研究入門: (抵抗するグローバル・サウス)のアジェンダ』法律文化社、2019年 増田義郎『物語ラテン・アメリカの歴史』中央公論新社、1998年 北村厚『教養のグローバル・ヒストリー: 大人のための世界史入門』ミネルヴァ書房、2018年

事前および事後学習の指示 (事前学習 30 時間 ・ 事後学習 30 時間) 毎回の授業で指示される参考文献や参考URLをもとに、事前および事後学習をしてください。

その他備考(担当教員用) 教科書は毎回使います。

キーワード アメリカ、ラテンアメリカ、近現代史、グローバルヒストリー

備考(管理者用) (旧: 地域研究 I) 02~19E・SS・SW・B・L・J
